

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成24年6月11日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

1. GIグレード 0件

2. GIIグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全上の影響度合い
1	3号機	タービン補機冷却海水系において、ストレーナ(B)差圧計元弁の作業安全処置を示すタグが近傍の弁に付けられていたことを確認した。当該タグを正しい弁へ付け替え、当該事象の原因を調査。なお、両方の弁とも別の作業安全処置が実施されており作業安全等への影響なし。	GIII以下

3. GIIIグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の排気ガス温度指示計の指針に固着を確認した。当該指示計を点検・修理。	
2	2号機	高電導度廃液・低電導度廃液の脱塩装置用再生水絞り弁等にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
3	5号機	非放射性スチームドレン移送系において、収集タンク防液堤ピットの排出ポンプ吐出ライン(B)入口第二弁に動作不良(閉動作の遅れ)を確認した。当該弁を点検・修理。	
4	6号機	タービン建屋の熱交換器エリア給気処理装置室における防火ダンパーの点検時、動作不良(固着)を確認した。当該ダンパーを修理。	
5	7号機	タービン建屋天井クレーンの照明電源スイッチの不良を確認した。当該スイッチを修理。	
6	その他	大湊側補助ボイラー4Bの点検時、給電部の絶縁体パッキン接合面に割れを確認した。当該パッキン接合面を修理。	
7	その他	大湊側焼却設備において、耐火扉の閉動作ができないことを示す警報が発生し、焼却炉が停止したことを確認した。当該事象の原因を調査。	